

『梅は咲いたか』

塚田 實

毎日の散歩は駒沢公園を歩くことが多い。公園の一角に梅林があり、毎日少しずつ花が開いて、今は紅白梅ともほほ満開だ。梅林に近づくと芳しい香りが漂ってきて、何とも嬉しい。

梅と言えば『東風吹かばにほいおこせよ梅の花 あるじなしとて春な忘れそ』の菅原道真を思い起こす人が多いと思う。道真は旧暦二月二十五日に亡くなったが、今は新暦の二月二十五日を祥月命日として、各地の天満宮で様々な行事が行われている。天満宮は全国に約一万二千社もあるそうだ。

学生時代家庭教師のアルバイトを探していたら、巡り合ったのは西陣織屋の娘さんだった。市電の上七軒停留所で降り、三味線の音を聴きながら、しばらく行くと織屋さんのコトコトという機織り機の音が響いてくる。上七軒は京都五花街の一つだ。梅の頃は上七軒の一つ先の北野停留所で降り、受験生に交じって北野天満宮にお参りし、梅を楽しんだ。

家庭教師を三年で終える時、親父さんに聞かれた。「三年間お世話になりました。お礼したいので、どこか行きたいところはありますか」。「祇園というところに行ったことがないので、行ってみたいです」と応えると、親父さんはけたけたと笑った。「あそこは遊びが難しいから、祇園の『十二段家』でしゃぶしゃぶを食べまひよ」

今まであちこちの天満宮にゆかりがあった。結婚式は大阪天満宮で挙げた。会社施設の中央病院が湯島にあり、湯島天神には度々お参りした。ツツジの頃は道真が祭神の一人になっている根津神社で写真を撮り、フジの頃は亀戸天神に詣でた。

家庭教師を終えて三十五年後に祇園を訪れた時「丁度梅の季節やから、月並みですけど『梅は咲いたか』をやりまひよか」と芸妓さんが聞いてきたので「是非お願いします」と応えた。じっくり踊りを見て唄を聴いていると、江戸端唄らしく内容はいかにも艶っぽい。

さて今は静かに梅の美しさを愛でるだけである。駒澤大学では薄紅色の花をつける河津桜も満開だ。春はそこまで来ている。